

# 平成26年度 大館市立花岡中学校 学校評価書( 前期 ・ 年度 )

## A 学校教育目標

郷土に誇りをもち、主体的・創造的に生きようとする生徒の育成

めざす生徒像 (校訓)

- (1) 感謝と思いやりの心をもち、進んで人の役に立とうとする生徒 (誠実)
- (2) 正しい判断力をもち、健康で明るい生活のできる生徒 (自律)
- (3) 夢と志に向かい、自ら学び、自ら考え、自らを高める努力ができる生徒 (努力)

めざす学校像

- (1) 生徒一人一人が、存在感もてる学校
- (2) 地域に信頼され、地域と共に歩む学校
- (3) 整然と美しく、潤いのある学校

めざす教師像

- (1) 生徒の心に寄り添い、保護者の思いに心を馳せることができる教師
- (2) 教育に対する情熱をもち、自らの資質向上に努め、不断に研修を積む教師
- (3) 教育公務員としての自覚をもち、生徒・家庭や地域から信頼される教師

## B 本年度の重点目標

- |                   |                              |
|-------------------|------------------------------|
| (1) 主体的な学習の推進     | わかる・できる授業の推進、生徒主体の授業構成       |
| (2) 望ましい集団の育成     | 自己有用感をもてる学級づくり、達成感をもてる特別活動   |
| (3) ふるさとキャリア教育の充実 | 総合的な学習の時間の充実、ふるさとへの誇りの醸成     |
| (4) 地域と共にある学校づくり  | ボランティアの推進、施設・公民館との交流、小学校との連携 |
| (5) 統合に向けた取り組み    | あいさつ・清掃の徹底、コミュニケーション能力の育成    |

## C 学校経営の特徴

ふるさとキャリア教育の充実 → ふるさとと母校への誇りを醸成

- (1) 学校・地域のアルバムの完成
  - ・花中68年の沿革
  - ・校舎の移り変わり
  - ・写真が語る68年
  - ・昔の町並みと花岡温泉
  - ・花岡地区の祭
  - ・花岡鉱山の操業100年史
  - ・鳥潟会館
  - ・花岡鉄道
- (2) 学年に応じたキャリア教育活動の推進
  - 1年生: 北陽中学区の企業訪問と職場体験
  - 2年生: 北陽中学区の職場体験(自然の家での宿泊)
  - 3年生: 浅草でのふるさとPR
  - 全校生徒: 鳥潟会館ボランティアガイド
- (3) ようこそ先輩課外授業(最終回) 作曲家: 橋本祥路先生による講演会

## D 評価

<b>学校運営の状況</b>	自己評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
		良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
		おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
		やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
		努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

<b>生徒の状況</b>	自己評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
		良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
		おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
		やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
		努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

# I 組織・運営

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	前期	良好	自主性を育てる教育課程が編成されている。
	年度		
学自 校己 の評 改価 善の 策の 概要 と	【前期(→年度)】今年度は、3月の閉校に向けて学校一丸となって取り組んでいることがよい方向に向かっている要因となっている。特に「ふるさとキャリア教育」においては、体験活動がさらに充実した。また、生徒の手による記念誌作成(10月完成予定)にも意欲的に取り組んでいる。事務処理に関しては、適正な処理を継続すると共に、複数の目による監査体制でミスが発生を防止していきたい。		
	【年度(→次年度)】		

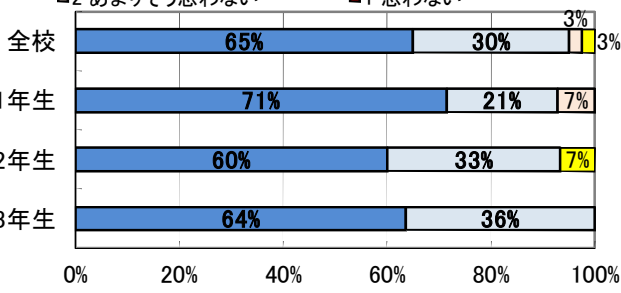
評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 明確な運営・責任体制	(1)学校評価の効果的運用	・重点課題と生徒像の明確化 ・アンケート項目の検討 ・校内評価委員会	3	
2 教育課程の編成と実施	(2)教育目標実現のための教育活動の充実	・ふるさとキャリア教育の充実 ・体験活動や地域素材を生かした教育活動	4	
	(3)学習指導要領に沿った教育課程の編成	・適切な時数配分 ・授業時数の確保		
3 効果的な事務運営及び事務処理	(4)各種会計管理の徹底	・学校納金の適正な管理 ・情報漏洩防止の徹底 ・各種会計の執行状況の周知	4	

## (2)に関するデータ 教育活動の充実

### 体験活動や地域素材を生かした教育活動

保護者:学校は、地域の人材や施設を活用した活動や、地域に関わる活動に取り組んでいますか。

- 4 そう思う
- 3 だいたいそう思う
- 2 あまりそう思わない
- 1 思わない



## ふるさとキャリア教育の充実(ふるさとと母校への誇りの醸成)

### 修学旅行先(浅草)でのふるさとPR活動 ～人間関係形成能力の育成～



### いただいたアンケートの記述から

- 膝を折り目線を合わせて話す優しい生徒さんでした。
- 君はたぶん心がドキドキしてたんじゃないかな。それでも勇気を出して私に話しかけたんだ。拍手！
- 一生懸命に話してくださり、一度訪ねたいと思いました。かわいい生徒さんでした。
- 爽やかに話しかけてくれました。話も分かりやすかったです。パンフレット、家できちんと読みました。
- 説明がとても自然でした。天使が目の前に現れたようでした。

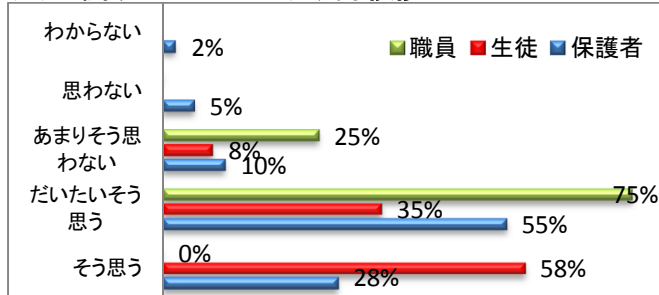
### アンケート結果(Aの割合)

	H25	H26
1 挨拶は明るい笑顔でしたか。	70%	94.7%
2 話し方は明快でしたか。	90%	94.7%
3 説明の内容は分かりやすいものでしたか。	80%	94.7%
4 大館市に興味をもちましたか。	85%	84.2%

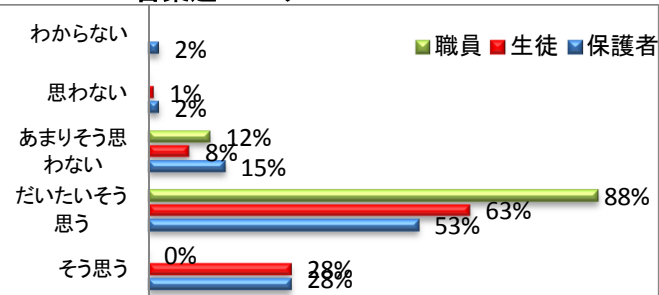
II 自主的・自律的な生活				
生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
元気な挨拶をし、規律ある生活を送りながら、目標達成に向けて主体的に取り組もうとしている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	自主的・自律的な生活や活動が増えているようなので、継続して頑張してほしい。	
学 自 校 己 の 評 価 改 善 の 策 の 概 要 と	【前期(→年度)】	生徒の「挨拶」は、朝のあいさつ運動時や職員室の出入り、朝会、集会等で全体的に良くなってきている。「相手に届く声で」「自分から進んで」という点は改善されてきているが、今後は「笑顔で」「目を見て」という点に取り組んでいく必要がある。責任感を育むため、当番活動や生徒会活動などで、自分から進んで積極的に取り組めるよう活動を工夫させたい。問題行動については、全職員で協力して迅速に対応してきたが、情報のキャッチが遅れてしまった事案があった。もっと教師のアンテナを高くし、保護者・地域と協力しながら早期発見に努めたい。		
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 基本的な生活習慣	(5)時と場に応じた挨拶・言葉遣い・マナー	・あいさつ運動 ・小学校との連携 ・他校との連携	3	
	(6)健康的な生活リズムの定着	・チェックカードの活用 ・生活習慣アンケートの実態と個別指導		
5 集団生活・集団活動	(7)規律ある校内生活	・月目標 ・生徒会活動	3	
	(8)自分の役割に責任をもつ態度の育成	・当番活動 ・係活動 ・委員会活動 ・部活動		
	(9)問題行動の早期発見と迅速な対応	・定期的な相談活動 ・必要に応じた相談活動	2	

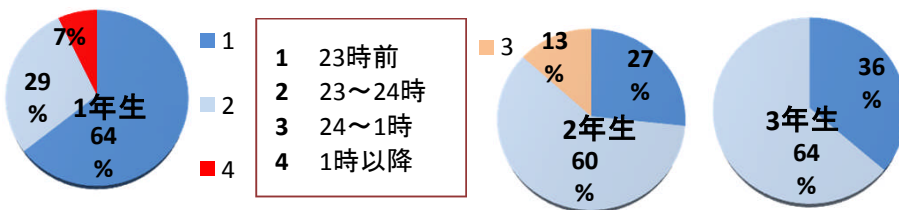
(5)に関するデータ 元気な挨拶



言葉遣い・マナー



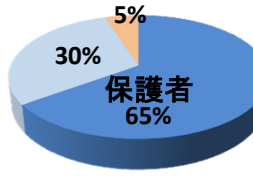
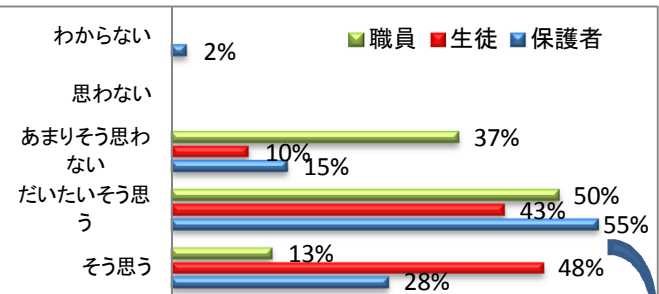
(6)に関するデータ 健康的な生活リズムの定着(就寝時刻)



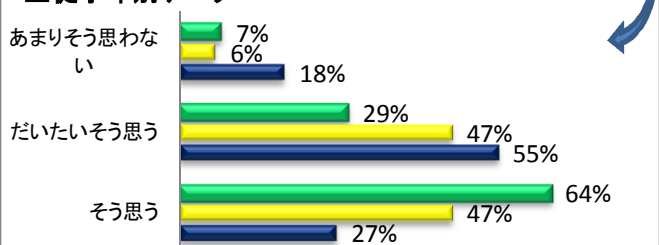
**生活リズムチェックカード**

生活リズムチェックカードの概要と記入例が示されています。

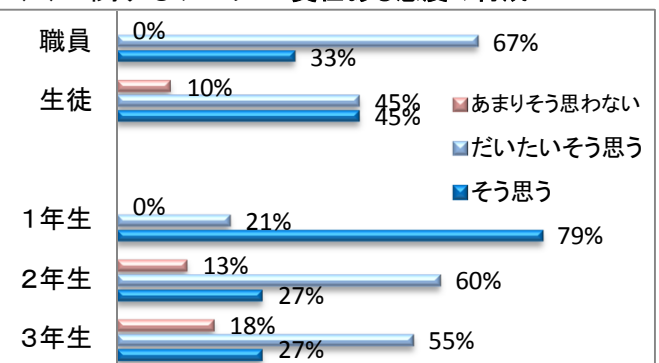
(7)に関するデータ 規律ある校内生活



生徒学年別データ



(8)に関するデータ 責任ある態度の育成



### Ⅲ 思いやりの心・たくましい心

生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら、安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期	おおむね良好	三校交流会で良い刺激を受けているようなので、統合に向けて頑張してほしい。
	年度		

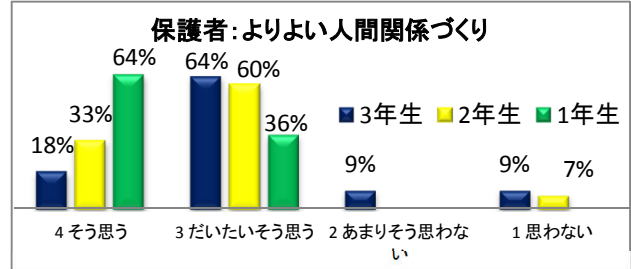
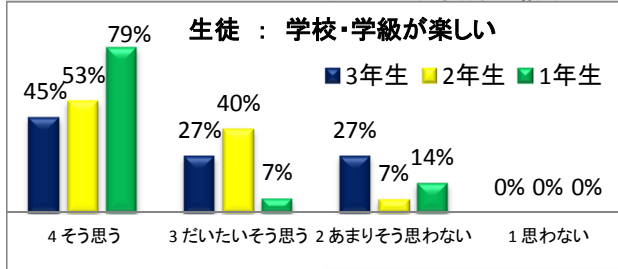
学  
自  
校  
己  
の  
評  
改  
価  
善  
の  
策  
の  
概  
要  
と

【前期(→年度)】お互いに認め合う場面は、学級活動や学校行事を通して多くなってきている。しかし、「切磋琢磨」という面に於いては、三校の交流会で刺激を受けているものの、校内生活ではまだ課題として残る。今後は、生徒自ら企画し活動できる場を工夫し、積極性を育みたい。学校行事への取り組みは、最後の年ということもあり、積極的に達成感も高い。困難を乗り越える力を学校祭でも培い、閉校式へとつなげていきたい。

【年度(→次年度)】

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 開かれた心と自立心の発揮	(10)よりよい人間関係を構築する特別活動	・学級活動 ・委員会活動 ・生徒総会 ・短学活の充実	3	
	(11)生徒が自信をもって、積極的に取り組む活動	・主体的に活動できる場づくり ・学級での意識づけ ・部活動		
7 一人一人の個性の発揮	(12)互いの良さを認め合う学級	・友達の良さを認め合う場の設定 ・学年通信での紹介	4	
	(13)達成感を味わわせ、行動力を育てる学校行事	・新入生歓迎会 ・運動会 ・学校祭 ・3年生を送る会		

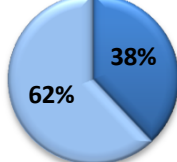
#### (10)に関するデータ よりよい人間関係の構築



#### (11)に関するデータ

職員：主体的な場の設定

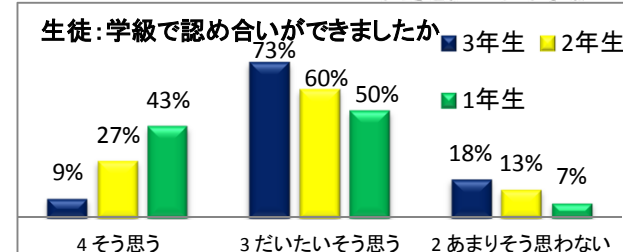
■ そう思う  
■ だいたいそう思う



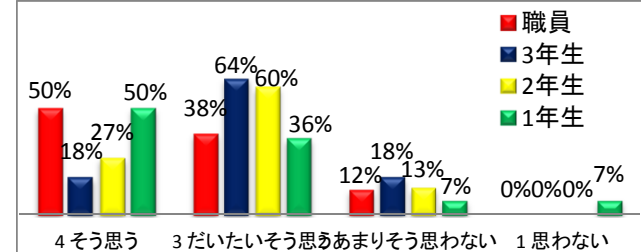
総体前日  
3年生へ2年生が激励に



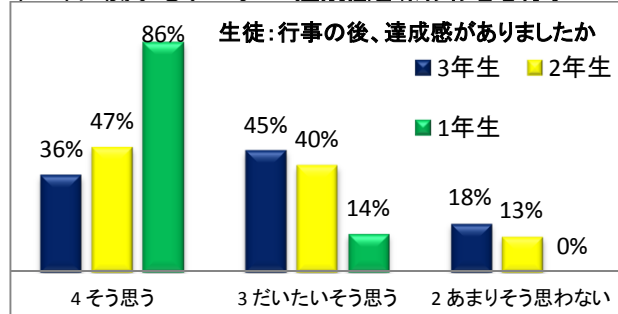
#### (12)に関するデータ 互いの良さを認め合う学級



#### 思いやりの心の育成



#### (13)に関するデータ 達成感を味わわせる行事

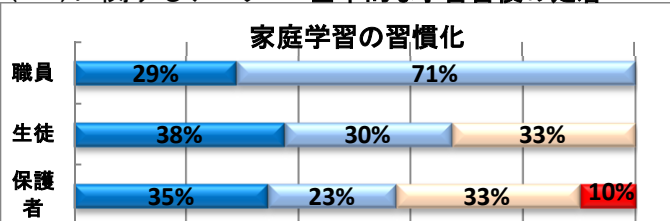


# IV 基礎学力

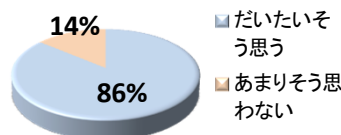
生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身につけながら、学力を向上させようとしている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	教師サポートが上がっているのので、自信をもって指導にあたってください。
学自己評価の改善の概要と	【前期(→年度)】生徒が主体となる授業作りをめざし、研究を進めているところである。生徒は話型を活用しながら、自分の考えを話したりつなげたり出来るようになってきた。今後も「学習ルールの徹底」「生徒の活躍の場の設定」「言語活動の充実」などの授業改善に力を入れ、生徒がより自己有用感をもてるような授業作りをしたい。また、家庭学習の習慣化を図るため、生徒に必要感を持たせ自主的に取り組めるよう、学年・委員会活動で「クラスで〇時間を目指そう！」などの呼びかけや強調週間などを工夫させていきたい。 【年度(→次年度)】		

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 学習への取り組み	(14)基本的な学習習慣の定着	・学習ルール ・話型 ・家庭学習の習慣化	3	
	(15)基礎的・基本的な内容の確実な定着	・教材教具の有効な活用 ・ドリル学習の有効な活用		
	(16)個に応じた指導の工夫	・効果的な個に応じた指導 ・家庭学習内容への助言		
	(17)読書活動の充実	・朝読書の充実 ・コラム学習 ・読書運動		
9 諸検査の状況	(18)NRT, 学習状況調査結果の向上	・結果の分析と補充・回復	3	
10 授業改善の推進	(19)生徒主体の授業	・導入、終末の工夫 ・学びあい学習の工夫 ・言語活動の充実 ・研修会の実施	3	
	(20)他校との連携による授業改善の推進	・花小、二中、矢中との連携と授業交流 ・自己有用感を高める活動		

## (14)に関するデータ 基本的な学習習慣の定着



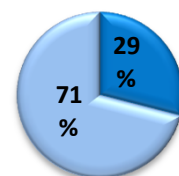
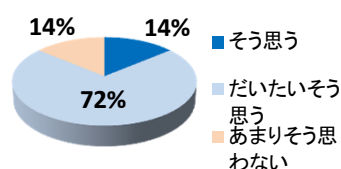
職員：生徒は話型を生かして意見や考えを表現することが出来た



## (16)に関するデータ 個に応じた指導

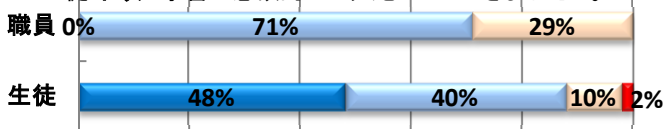
職員：少人数を活用したり、評価を生かしたりして個に応じた指導を図った

職員：授業で基礎的・基本的な事項を定着させることが出来た



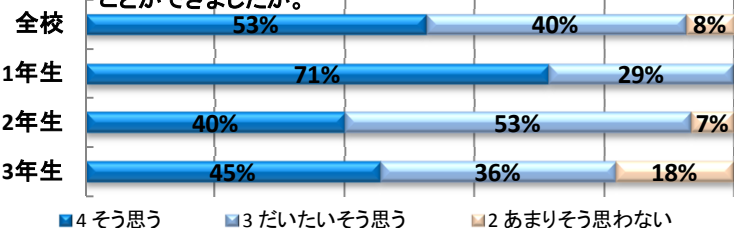
## (15)に関するデータ 基礎的・基本的な学習定着

職員：ドリルを通して、生徒の学習意欲向上に努めた。  
生徒：ドリル学習に意欲的にとりくむことができましたか。

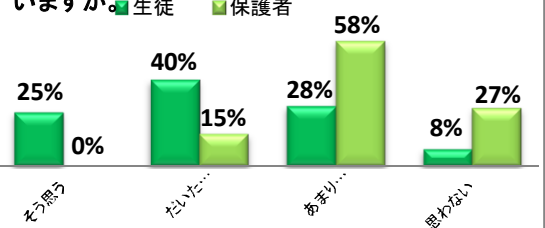


## (17)に関するデータ 読書活動の充実

「朝のさわやか読書・さわやかコラム」に意欲的に取り組むことができましたか。

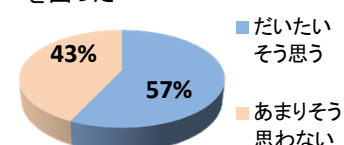


家で新聞のニュースを読んだり、TVのニュースを見ていますか。



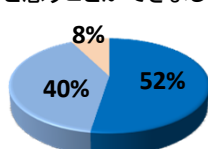
## (18)に関するデータ NRT, 学習状況調査結果の向上

職員：各種調査を分析し学習状況の把握して指導の工夫を図った



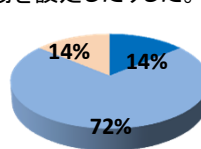
## (19)に関するデータ 生徒主体の授業

生徒：授業の最後にめあてや課題に対して「できた・わかった」と思うことができましたか。



## 生徒主体の授業

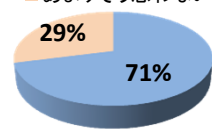
職員：生徒が意見や考え、思いを表現したり、学び合う場を設定したりした。



## (20)に関するデータ

職員：授業で自己有用感を育んだ

職員：授業で自己有用感を育んだ



# V 安心・安全

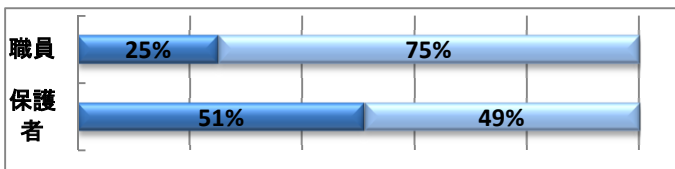
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
生徒への安全確保に取り組んでいて、諸問題への組織的対応が図られている。	前期	おおむね良好	良好	このまま継続して頑張ってもらいたい。
	年度			

【前期(→年度)】5月には火災を想定した避難訓練を実施し、7月には電話不通時の連絡網や緊急時の帰宅方法を再確認した。あわせて町内毎に生徒と教員が集団で下校しながら、通学路の安全確認をおこなった。緊急連絡メールを適宜送信しているが、不具合があり改善した。不登校生徒には学級担任・学年だけでなく全職員で対応している。今後は人間関係を改善する施策をとり、よりよい集団づくりにつとめたい。

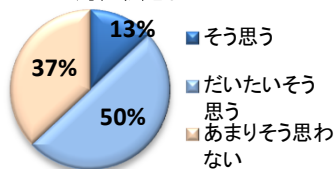
【年度(→次年度)】

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 安全教育と安全管理	(21)安全な登下校と継続的な防災訓練	・緊急時の下校場所の確認 ・避難訓練(火災、地震、不審者)	3	
12 組織的な生徒指導	(22)不登校等の未然防止と適切な対応	・アセスの活用 ・鴻志ノート ・情報の共有	4	

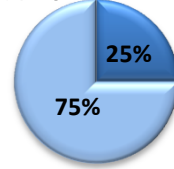
## (21)に関するデータ 安全教育(避難訓練等の実施)



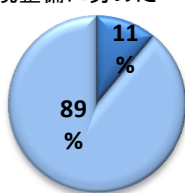
教員:携帯電話利用のマナーやルール、トラブルへの対処法を啓発した



教員:生徒が交通ルールを守り、安全に生活できるよう指導した

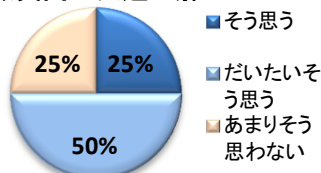


教員:校舎内外の安全環境整備に努めた

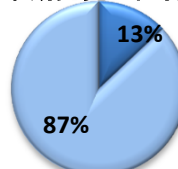


## (22)に関するデータ

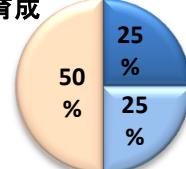
### 職員間の共通理解



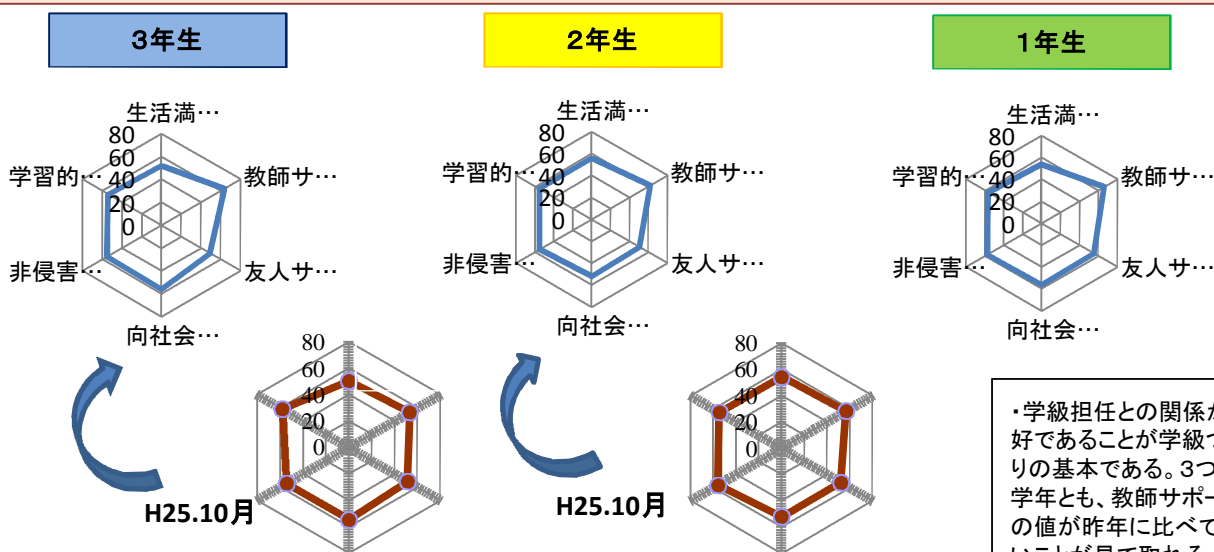
### 早期発見・即時対応



### 自己管理できる生徒の育成



## アセス(学校環境適応尺度)の結果



- 生活満足感** : 生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度を示す。
- 教師サポート** : 担任(教師)との関係が良好であると感じている程度を示す。
- 友人サポート** : 友人関係が良好だと感じている程度を示す。
- 向社会的スキル** : 友への援助や友との関係をつくるスキルをもっていると感じている程度を示す。
- 非侵害の関係** : 無視やいじわるなど拒否的・否定的な友達関係が無いと感じている程度を示す。
- 学習的適応** : 学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示す。

・学級担任との関係が良好であることが学級づくりの基本である。3つの学年とも、教師サポートの値が昨年に比べて高いことが見て取れる。  
・友人サポートが低い傾向にあることが今後の課題である。狭い人間関係ではなく集団として高まることが、生活満足度につながると思われる。

## VI 保護者・地域との連携

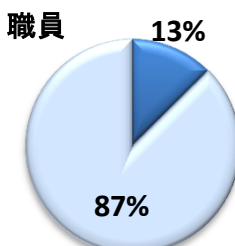
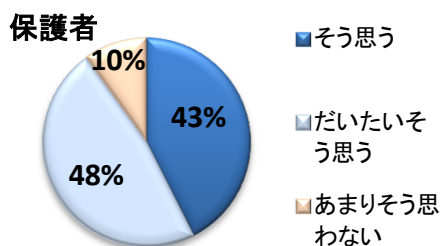
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みを保護者や地域へ分かりやすく伝え、地域の教育力を有効に活用している。	前期 良好	良好	閉校に向けて学校全体で積極的な取り組みがなされている。
学自己評価の改善概要と	年度		
【前期(→年度)】各種のおたより発行やHP更新で、学級・学校の生徒の様子を詳しく発信してきた事を、保護者も好意的に受け止めている。今後はおたより等が確実に保護者に渡るよう指導していきたい。学校開放では、地域の方々にも参加していただいた運動会や多数の卒業生が訪れた夏休みなど、地域に開かれた学校となってきた。今後、学校祭の奉仕作業やバザー等の活動を保護者と協力し合い、閉校にむけた活動にも連携を図ってきたい。			

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
13 情報の受発信	(23)学校と地域・家庭をつなぐ情報発信	・学校報 ・学年だより ・部活動だより ・ホームページ更新	4	
	(24)学校開放の推進	・みんなの登校日 ・各種行事の案内		
14 地域の教育力の活用	(25)地域人材と地域素材の活用	・地域の自然、伝統、文化、産業、人材等の活用	4	
	(26)PTA相互の連携と協力体制	・挨拶運動 ・運動会や学校祭での連携 ・親子奉仕作業 ・PTA会報		

### (23)に関するデータ 情報発信(学校報・おたより等の内容充実)

保護者:学校報や学年だよりによって、学校や生徒の様子がわかりますか。

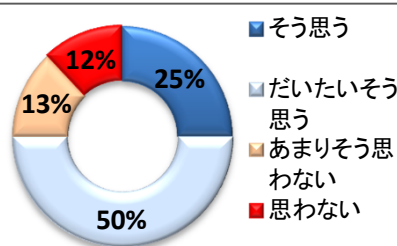
職員:おたより等の内容を工夫し、学校の取り組みを分かりやすく伝えた。



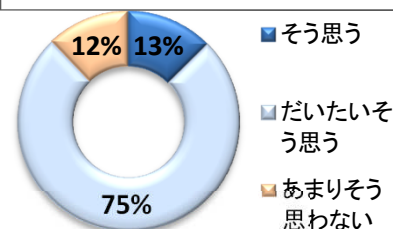
### (25)に関するデータ

#### 地域人材・地域素材を活用した体験活動

職員:地域を素材とした探究的な学習の工夫をした。

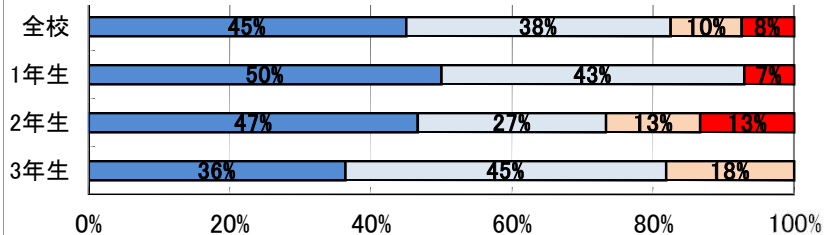


職員:地域の自然・伝統・人材等を活用し、学校と地域の交流を図った。



学校報や学年便り、保健便り等を忘れずに家の人に見せていますか。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない ■1 思わない



### (24)に関するデータ 学校開放の推進

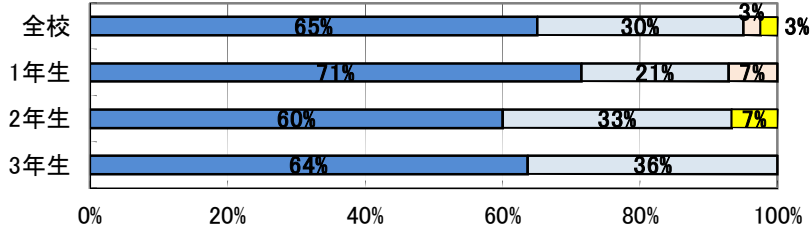
閉校を迎える今年度は、学校行事に保護者だけではなく地域の方にもきていただけるよう呼びかけをおこなった。運動会には、70名を超える方々に参加していただいた。また、5月の連休や夏休みに(8月14～15日)は、延べ150名を超える卒業生とその家族が来校した。今後も地域に開かれた学校を目指す。



### (26)に関するデータ PTA相互の連携

保護者の方は、学校で行われるPTA活動(PTA総会、授業参観、運動会への協力)に参加できましたか。

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない



8月:卒業生来校

